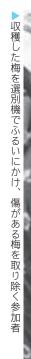
6月10日(日)上揚の坂本梅



梅まつりで地域活性化

宮内地区の坂本梅林で、 宮内地区活性化委 員会主催による地域活性化のための平成24 年度宮内梅まつりが開催されました

> ちは、鈴なりに実った梅をバケ り。早朝から集まった参加者た のために梅を植樹したのが始ま 坂本壽雄氏が、児童の農業実習

いっぱいに収穫しました。

約70人が参加しました。

|時の宮内小学校の校長だった

坂本梅林は、昭和11年ごろ、

人)の児童や教諭などを含めた 小学校(本田尚一校長185 ンバーのほか、町内住民、甲佐 嗣会長)が主催。同委員会のメ

宮内地区活性化委員会(境国



▲ちぎった梅を興味深そうに眺める子ども

域活性化に活用しています。

また、梅まつりに参加した60

です」と笑顔。自然の恵みを地 ているため、ジャム作りに最適 て販売します。今年の梅は熟し 特産品である梅ジャムに加工し

て選別。選別機でふるいにかけ たり、葉や茎などを取り除いた ちぎった梅は、 集会所に集め

収穫した梅の一部は、

宮内の

自然の恵みを地域の活性化に

全体で、

はやや大きめで、黄色や赤など に熟した梅が多く採れました。 宮内地区の60歳代の男性は、 今年は例年に比べ2週間程度 約540歳を収穫しま 実

年度宮内梅まつりが開催されま 林および宮内集会所で、平成24

▲きれいに色づいた梅をどっさりと収穫

した。 収穫を遅らせたこともあり、 購入しました。 場。ちぎりたての梅を見定めて 量りながら袋に詰めました。 りした後、 入希望者が選別会場に続々と来 選別作業の途中から、梅の購 子どもたちが重さを

Public Relations KOSA July 2012

孫

です」と話しました。

した。ぜひ梅を買って帰りたい を連れて、今年初めて参加しま 歳代の仁田子区の夫婦は、